

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要

富谷市教育委員会

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するため、4月19日（火）に実施した全国学力・学習状況調査の富谷市立学校の結果の概要をまとめました。

富谷市では、この結果をもとに、教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育施策の改善などに役立てていきます。

1 調査対象（全小中学校を対象とした悉皆調査）

- (1) 小学校調査 小学校第6学年 8校 593名
- (2) 中学校調査 中学校第3学年 5校 620名

2 調査事項

- (1) 教科に関する調査（小学校調査は、国語・算数・理科、中学校調査は、国語・数学・理科）
- (2) 児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

3 調査結果の概要

- (1) 教科に関する調査

富谷市の小学校の正答率は、国語・算数・理科とも全国平均を下回り、仙台市を含めた県平均の正答率とほぼ同じです。富谷市の中学校の正答率は、国語・数学・理科とも全国平均を上回り、特に、国語で3ポイント、理科で3.7ポイント上回っています。

また、学習指導要領の内容・領域や観点別・問題形式で見ると、富谷市の小・中学校とも大まかにみると、全国平均の正答率と同じ傾向が見られます。富谷市の小学校では、国語の「A話すこと・聞くこと」以外は全国平均を下回っており、特に、国語の「B書くこと」「短答式」、算数の「D変化と関係」は、全国平均を4ポイント以上下回っています。富谷市の中学校では、国語・数学・理科とも、全項目で全国平均を上回り、特に、国語の「C読むこと」、理科の「A区分『エネルギー』を柱とする領域」では5ポイント以上上回っています。しかし、理科の問題形式の「短答式」は、富谷市も全国平均も30%を下回る低い正答率となっています。

各問題における正答数分布をみると、小・中学校とも全国平均・宮城県平均とほぼ同じような分布となっていますが、富谷市の小学校国語では全問正解者の割合が少なく、富谷市の小学校算数と小学校理科は、全国平均・宮城県平均と比べると割合のピークが左（正答数が少ない方）へ移っています。富谷市の中学校では、国語は全国平均・宮城県平均とほぼ同じ分布ですが、数学では、全国平均・宮城県平均のピークと同じ正答数にピークがあり、その割合は高くなっています。理科では、全国平均・宮城県平均と比べると割合のピークが右（正答数が多い方）へ移っています。

(2) 児童生徒質問紙調査

富谷市の小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合で判断すると、全75項目中、回答率が90%を超えて全国平均も上回ったのが6項目あり、回答率50%を超え全国平均を5%上回ったのも7項目ありました。特にICT関係の項目、考えが伝わるような発表の工夫、総合的な学習の時間の取り組みが高くなりました。

また、富谷市の小学校で、全国平均を5%以上下回ったのは6項目あり、「解答時間は十分でしたか(国語)」の項目(71)で全国比11.5%減、「家で学校からの課題で分からないことがあった時に、先生に聞く」の項目(19)で全国比8.1%減、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の項目(14)と「解答時間は十分でしたか(算数)」の項目(73)でどちらも全国比7.0%減、「休みの日の学習時間2時間以上」を問う項目(22)で全国比6.6%減、「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、遊んでもらったりすることがあるか」を問う項目(28)で全国比5.1%減という結果となりました。この中で、解答時間が不十分という項目が2項目含まれていたことは、国語も算数も問題文に長文が多かったことから、文章を読み取る力が不足していた可能性が考えられます。また、先生との関係を問う項目が2つ含まれていたことについては真摯に反省し、改善することが必要だと思われれます。

富谷市の中学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合で判断すると、全75項目中、回答率が90%を超えて全国平均も上回ったのが9項目ありました。また、回答率50%を超え全国平均を5%上回ったのが20項目あり、両方を合わせて、全項目の4割近くとなり全体的に良好でした。小学校でも高かった「ICT関係の活用」の他に、「学習時間」、「学び合いや話し合い」「国語への学習への取組」等の項目の回答が良好でした。全国を5%以上下回ったのは、「家で学校からの課題で分からないことがあった時に、先生に聞く」の項目(19)で全国比9.8%減でした。この項目は小学校でも全国比8.1%減であり、小学校同様、改善が必要だと思われれます。

4 今後の対応

今回の調査結果及び分析結果を本市の教育施策の検証・改善に生かし、子どもたちが学習に意欲を持って取り組めるよう学校、家庭、地域及び市教育委員会が連携して、教育活動の充実や生活・学習状況の改善に取り組めます。なお、今後、各学校においても、課題改善に向けた指導の方向性や対策を明らかにするとともに、保護者にも説明し、協力をお願いすることとしております。

小学校国語問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題はありませんでした。

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	36.3	20.4
正答例	<p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 【文章2】のよさについて以下のことを書いている。</p> <p>a 聞いたことや経験したことをもとにしていること</p> <p>b 最後の段落にがんばりたいことを具体的に書いていること</p> <p>c a, b以外のこと</p> <p>② 【文章2】から言葉や文を取り上げて書いている。</p> <p>③ 60字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(例)・わたしの文章のよさは、今年ががんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。(99字)</p> <p>・わたしの文章のよさは、自分の経験したことをもとに書いたところです。五年生の時のさいばい委員会での自分の活動をもとに六年生で取り組みたいことを書くことで、がんばりたいという思いを伝えることができました。(100字)</p> <p>・最後のだん落に「運動が苦手な人にも親しんでもらえるように、ルールや道具をくふうしたおに遊びやボールゲームを各学級にしようかしたい」と、一年間でがんばりたいことを具体的に書いたところが文章のよさです。(100字)</p> <p>・わたしの文章のよさは、最初のだん落で「この一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです」と書くことで、読む人に六年生としての決意を伝えようとしたところです。(100字)</p>		

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる問題です。自分の文章のよいところを見付けるためには、文章全体の構成や展開が明確になっているかなどの観点から、具体的に感想や意見を伝え合うことが大切です。島谷さんは、友達川口さんと文章について伝え合ったことを基に、自分の文章のよさを振り返っています。ここでは、「聞いたことや経験したことをもとにしていること」や「最後の段落にがんばりたいことを具体的に書いていること」など、【文章2】のよさについて書き、【文章2】から言葉や文を取り上げて、60字以上100字以内で書くことが求められています。

富谷市で最も多かった誤答は、【文章2】から言葉や文を取り上げていますが、【文章2】のよさについて書いていない解答でした。(28.0%) (例) わたしは、運動委員会でみんなのことを考えた新たな活動を進めたいと思っています。運動が苦手な人も親しむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかしたいです。(100字)

記述式の解答のため、無解答率も20.4%と高くなりました。(全国平均より5.9%高くなっています。)

小学校算数 問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (1)	1050×4を計算する	93.9	0.2
正答例	4200		

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	30.4	1.2
正答例	ア 85を小さくみて80, 21を小さくみて20として計算します。		

示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる問題です。示された場面において、数を大きくみたり小さくみたりするなど、目的に合った数の処理の仕方を考察することを求められています。本設問では、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段が1470円より必ず高くなることを見積もりによって確かめるために、値段を求める式である85×21の85と21をそれぞれ小さくみることが必要であることに気づくことが大切です。

富谷市での誤答が多かったのは、「ウ 85を大きくみて90, 21を小さくみて20として計算します」という解答を選択した児童で53.6%いました。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2 (3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	17.7	0.3
正答例	3 (飲み物の量が1/2になっても、果汁の割合は変わりません。)		

示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる問題です。本設問では、果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けると、飲み物の量は1/2になりますが、一人分の飲み物に含まれている果汁の割合は変わらないことを理解していることが必要となります。

富谷市での誤答が多かったのは、「1 飲み物の量が1/2になると、果汁の割合も1/2になります」という解答を選択した児童で74.9%いました。

小学校理科 問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	94.4	0.0
正答例	4 (あきらさん)		
4 (1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	84.8	0.5
正答例	「冬の晴れた日は、気温の変化が大きく、くもった日は、気温の変化が小さくなっている。このことから、冬の気温の変化の仕方は、天気によって変わるといえる。」を選択している		

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	35.2	9.3
正答例	砂糖水以外の水溶液を凍らせた物が、水(紅茶)などの液体に、沈む(浮く)のかどうかを問うことを示す趣旨で解答しているもの (例) ほかの水よう液をこおらせた物は、水にしずむのだろうか。 ミョウバンをとかした水よう液をこおらせた物は、水にしずむのだろうか。		

本設問は、「水を凍らせた物(氷)」や「砂糖水を凍らせた物」の紅茶や水に対する現象を対象として、凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた【問題】について問うものです。

富谷市での誤答が多かったのは、「水溶液を凍らせていない物を対象として、液体に沈む(浮く)かどうかを問う」解答(12.0%) (例)「トマトを凍らせた物は、水に沈むだろうか」、「水溶液を凍らせた物を対象として、液体に沈む(浮く)現象自体を問う」解答(11.6%) (例)「なぜ、砂糖水を凍らせた物は、水にしずむのだろうか」でした。

記述式の解答のため、無解答率も9.3%と高くなりました。(全国平均も8.7%と高いです。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3(1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	31.2	0.2
正答例	鏡で反射した日光は直進するので、的に三角形の光を当てるため、的に三角形に切り抜いた段ボールの板とを結んだ直線の延長上にいるかつやさんを選ぶことが適切である。 (例) 3 (かつやさん)		

本設問は、鏡を操作して反射させた日光を対象として、光の性質を基に、反射させた日光の進み方について問うものです。ここでは、日光は直進することを理解していることが求められます。

富谷市での誤答が多かったのは、三角形に切り抜いた段ボールの板の正面にいる「はなこさん」を示す選択肢「2」を選択した児童で44.0%いて、日光は直進することについての理解に課題があることが分かります。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	32.2	11.6
正答例	次の①、②、③、④の全てを記述している。(②または③が欠けているものも正答としている) ①「黒色のかん」、「黒以外のかん」など、結果のうち、黒色の缶、または、それ以外の缶の色について言及する趣旨で解答しているもの ②「40分後には」、「最後には」など、結果のうち、時間について言及する趣旨で解答しているもの ③「28℃」、「32℃」など、結果のうち、缶の水の温度について言及する趣旨で解答しているもの ④「ほかの色のかんの水の温度よりも高い」、「一番水の温度が高い」など、缶の水の温度を比較することを示す趣旨で解答しているもの (例) 黒色のかんの水の温度は、40分後には32℃で、ほかの色のかんの水の温度よりも高いから		

缶の色とその水の温度を対象として、【問題】に対するまとめから、その根拠について、【結果】を基にして記述することについて問うものです。ここでは、実験で得た【結果】を、【問題】の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することが求められます。

富谷市では、正答例の①～④の全てを記述した児童は11.5%、①②④を記述した児童は19.9%、①③④を記述した児童は0.8%で合計32.2%が正答となっています。

富谷市での誤答が多かったのは、正答例の①と④のみを記述し、②と③について記述がない解答(例)「黒色のかんの水の温度は、ほかの色のかんの水の温度より高いから」で20.4%でした。

記述式の解答のため、無解答率も11.6%と高くなりました。(全国平均も11.2%と高いです。)

中学校国語問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2一	意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	85.0	0.2
正答例	「祖父母から聞いた内容であることを明確にしようとした。」を選択している		
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	92.1	1.1
正答例	4 「希」と「望」について行の中心がずれている		

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

正答率が40%を下回った問題はありませんでした。

中学校数学問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題はありませんでした。

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	37.9	1.0
正答例	$\begin{array}{cccccccc} \text{ア } X & \cdots & -6 & -4 & -2 & 0 & 2 & 4 & 6 \cdots \\ Y & \cdots & -11 & -7 & -3 & 1 & 5 & 9 & 13 \cdots \end{array}$		

関数を用いて事象を捉え考察する場面では、具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出して、その変化や対応の様子に着目して関数関係を見だし、その関数の特徴を調べるために、変化の割合を求めることが大切です。本問は、一次関数の変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる問題です。一次関数の変化の割合は、一次関数の変化の仕方について明確に捉える際に必要です。

富谷市の誤答で多かったのは、変化の割合を、表の隣り合う二つのyの値の差と考えられる一次関数の表を選択した生徒で30.5%ありました。

(例)
$$\begin{array}{cccccccc} x & \cdots & -6 & -4 & -2 & 0 & 2 & 4 & 6 \cdots \\ y & \cdots & -5 & -3 & -1 & 1 & 3 & 5 & 7 \cdots \end{array}$$

問題	問題の概要	正答率	無解答率
6(3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	38.2	23.5
正答例	$< 4(n+1) \text{ と計算している場合 }>$ 次の(a), (b)について記述している。 (a) $n+1$ は整数だから、(b) $4(n+1)$ は4の倍数である。 (例) $4(n+1)$ $n+1$ は整数だから、 $4(n+1)$ は4の倍数である。したがって、差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。 $< 4n+4 \text{ と計算している場合 }>$ 次の(c), (d)について記述している。 (c) $4n$, 4が4の倍数で、4の倍数の和は4の倍数だから、(d) $4n+4$ は4の倍数である (例) $4n+4$ $4n$, 4が4の倍数で、4の倍数の和は4の倍数だから、 $4n+4$ は4の倍数である。したがって、差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。		

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題です。本問では、差が4である2つの偶数の和について予想した事柄が成り

立つことを確かめ、文字を用いた式を使って説明するものです。

富谷市の誤答が多かったのは、正答例のような記述ができず解答に至っていない生徒で36.7%いました。

記述式の解答のため、無解答率も23.5%と高くなりました。(全国平均は26.2%と富谷市より高いのですが。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
9 (2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する	31.6	38.2
正答例	次の(a), (b), (c)について記述しているもの。 (a) $\angle AEB = \angle CBF$ (b) $\angle ABE + \angle AEB = 30^\circ$ (c) $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ (例) $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、 $\angle AEB = \angle CBF$ ……① $\triangle ABE$ において、三角形の内角の和は 180° で、 $\angle EAB = 150^\circ$ であるから、 $150^\circ + \angle ABE + \angle AEB = 180^\circ$ $\angle ABE + \angle AEB = 30^\circ$ ……② ①, ②より $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ したがって、 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和は 30° になる		

図形の性質を考察する場面では、成り立つと予想した事柄について、論理的に考察し、それを数学的に表現することが大切です。本問では、長方形と正三角形によってできる図形の性質を見だし、それが成り立つことを合同な図形の性質などを用いて考察する場面を取り上げました。条件を保ったまま長方形の辺の長さを変えた場合に、新たに分かることとして、ある角の大きさについて成り立つ性質を見だし、その性質が成り立つ理由を数学的に説明することとしました。

説明する際には、「 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ 」の根拠として、「 $\angle AEB = \angle CBF$ 」と、「 $\angle ABE + \angle AEB = 30^\circ$ 」を記述する必要があります。その上で、成り立つ事柄として、「 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ 」を記述する必要があります。

富谷市の誤答が多かったのは、正答例のような記述ができず解答に至っていない生徒で31.6%いました。

記述式の解答のため、無解答率も38.2%と高くなりました。(全国平均は38.5%と富谷市と同程度でした。)

中学校理科 問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	82.6	0.2
正答例	「乾いたティッシュペーパー」と「水で湿らせたティッシュペーパー」を選択している		
3 (1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	86.6	0.0
正答例	「 $2H_2 + O_2 \rightarrow 2H_2O$ 」を選択している		
4 (1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	80.3	2.6
正答例	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオウグソクムシは深海（水中）を泳ぎ、ダンゴムシは陸上を歩くから。 ・ダイオウグソクムシは深海（水中）で生活し、ダンゴムシは陸上で生活しているから。 ・ダイオウグソクムシは泳ぐが、ダンゴムシは泳がないから。 		

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	39.5	0.2
正答例	温暖前線が近づく天気図。		

継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる問題です。雲の種類の変化と観測データを温暖前線の接近によるものであると捉える必要があります。

富谷市の誤答が多かったのは、寒冷前線が通過する天気図と答えた生徒が47.6%いました。雲の種類の変化と観測データを寒冷前線の接近によるものであると捉えています。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2(3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	29.8	0.3
正答例	エ（飛行機雲の高さの湿度を調べないと、「湿度が関係していない」とは言えない）を選択している		

飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる問題です。雲の発生に関する知識を活用し、飛行機雲の高さの観測データが必要であることに気づくことが大切です。

富谷市の誤答が多かったのは、「イ 観測データの湿度が等しいので、『湿度は関係していない』と言える」を選択している生徒が36.8%で、湿度に関する知識を活用して、飛行機雲の残り方を考察していますが、飛行機雲の高さの観測データが必要であると判断できていないと思われます。また、「ウ 湿度が異なる他の日を調べないと、『湿度は関係していない』と言える」を選択している生徒も30.2%と多く、飛行機雲の残り方と湿度の関係には着目していますが、飛行機雲の高さの観測データが必要であると判断できていないと思われます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3(3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとを指摘する	28.7	1.9
正答例	太陽の光（太陽も可）		

化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせる基盤として必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる問題です。水素を取り出すために必要な電気エネルギーを得るための大本として、太陽の光を指摘できることが大切です。

富谷市の誤答が多かったのは、「電気分解又は燃焼に関係する物質」と解答している生徒で40.8%いました。化学変化に関する知識と「エネルギー」を柱とする領域の知識を関連付け、分析して解釈することができていないと思われます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
5(1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	23.2	0.0
正答例	釣り合う力を「ア」、力の説明を「キ ばねがおもりを押す力」と答える		

力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる問題です。おもりに働く重力とつり合う力を矢印で表したものを指摘し、つり合う力の説明も指摘できることが大切です。

富谷市の誤答が多かったのは、つり合う力を「ア以外の力」、力の説明を「キ ばねがおもりを押す力」と解答している生徒で53.9%いました。作用点を力の矢印の始点として表すことに課題があると考えられます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
6 (3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	35.6	0.3
正答例	ア (北から南)		

地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる問題です。凝灰岩の層に着目し、露頭Cから東西方向には水平で、露頭Dから南北方向では北が高く、南が低くなっていることが分かります。また、露頭Cの凝灰岩の層よりも露頭Dの凝灰岩の層が低い位置になっていることから北から南に下がっていることが分かります。

富谷市の誤答で多かったのは、ウ（西から東）またはエ（東から西）と解答した生徒で51.3%いました。露頭Dのスケッチの左右は南北方向であるにもかかわらず、東西方向と捉えていると思われます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
7 (1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	34.7	0.0
正答例	ウ (アルコールで手を消毒すると、手の温度が下がる)		

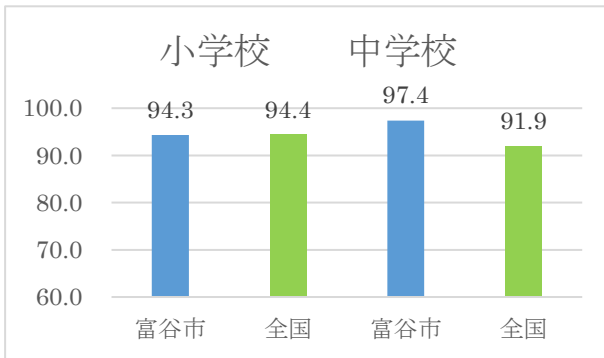
液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる問題です。アルコールが熱を奪って蒸発する現象を、水が熱を奪って蒸発する現象と同じ仕組みと捉えていることが大切です。

富谷市の誤答で多かったのは、「エ（氷に食塩をかけると0℃より温度が下がる）」と解答した生徒で37.6%いました。小学校で観察、実験を行った氷水に食塩を加えて温度が下がる現象を、熱を奪って蒸発する現象と同じ仕組みと捉えていると思われます。

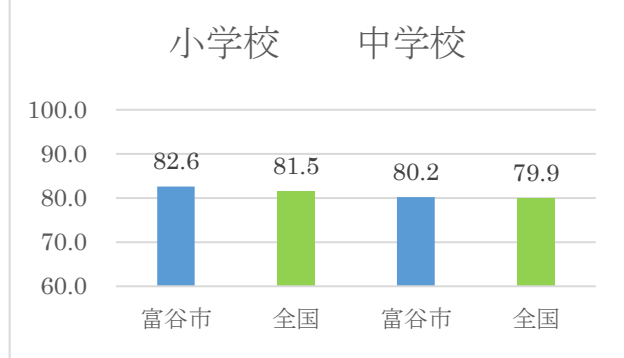
質問紙調査の結果と分析

生活習慣

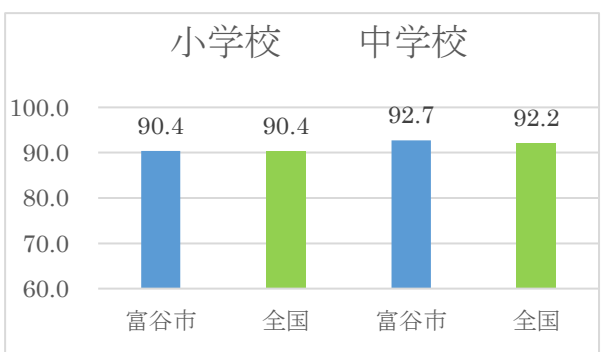
Q 1 朝食を毎日食べていますか



Q 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



Q 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

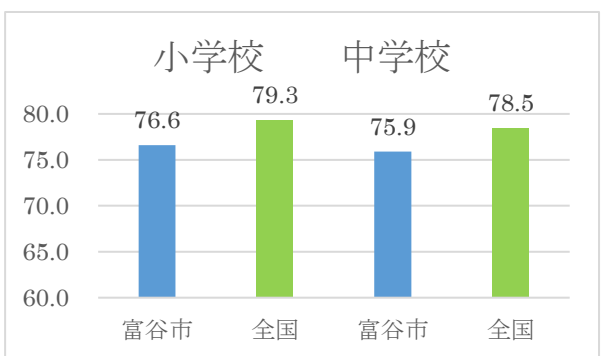


生活習慣については、小学校の朝食と起床時間は全国並みですが、それ以外は全国を上回っています。

今後も、学級活動や学校だよりで話題にするなど、規則正しい生活習慣を身に付け、健康に留意して生活できるよう、学校や家庭で子どもと一緒に話し合う機会をつくるのが大切です。

自己有用感

Q 7 自分にはよいところがあると思いますか

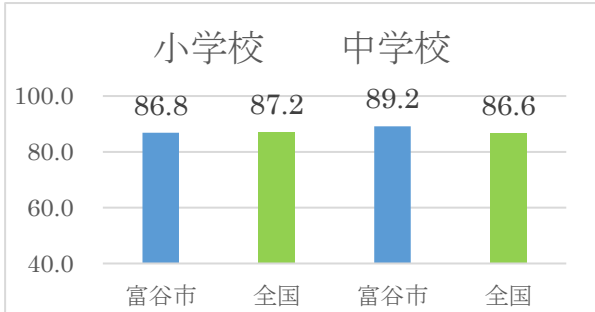


「自分にはよいところがあると思いますか」という項目においては、小・中学校とも全国を下回っています。

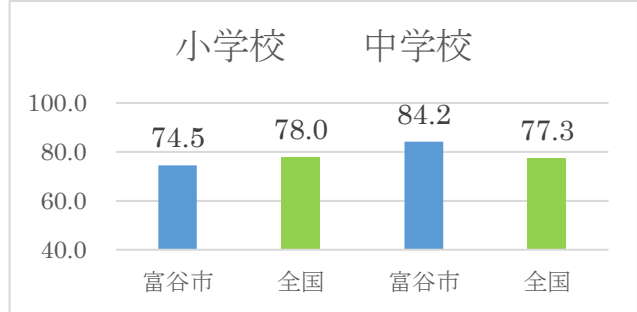
授業や学校行事、日常の当番活動や係活動などにおいて、よいところを認め具体的に伝えること、そして、互いのよさを認め合える集団づくりを行っていくのが大切です。

やり遂げる意志について

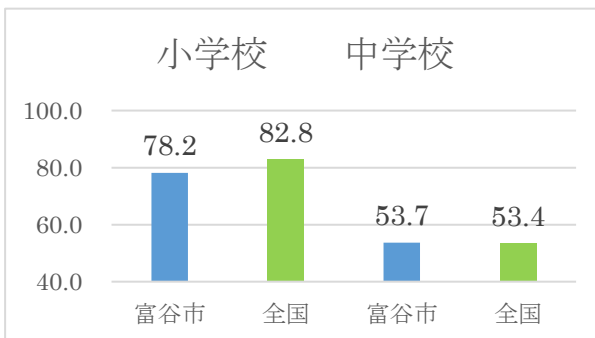
Q10 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



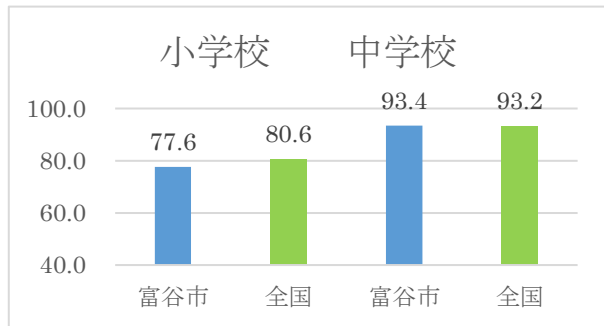
Q70 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか<全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答した割合>



Q72 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。(小学校) 今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。(中学校) それらの問題について、どのように解答しましたか<全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答した割合>



Q74 今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありましたが、どのように解答しましたか<最後まで解答を書こうと努力したと回答した割合>



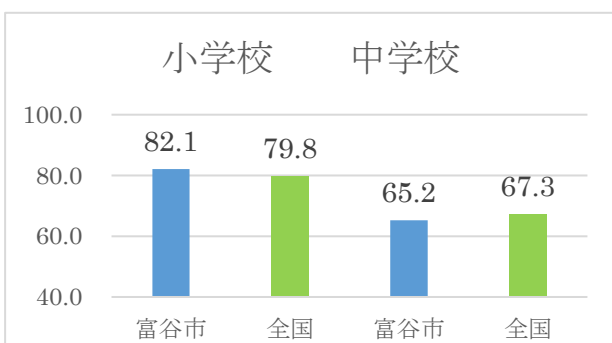
やり遂げようとする意志を示す項目と、その具体例として記述式問題を最後まで解こうと努力した割合を比較してみました。

「やり遂げようとするようにしていますか」については、小学校で全国並み、中学校で全国を上回りました。具体例としての記述式問題を最後まで解こうと努力した割合をみると、特に小学校で、国語・算数・理科とも全国を下回りました。中学校では、国語で全国を上回り、数学と理科では全国並みでした。

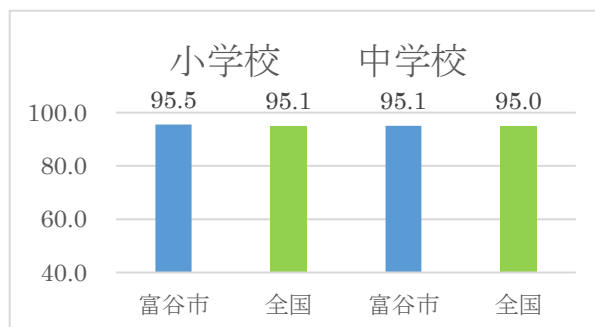
道徳科の授業や、学校行事等で「やり遂げようとする意志」について話題にし、子どもたちを励ましていく指導が望まれます。

将来の夢や目標について

Q 9 将来の夢や目標を持っていますか



Q 15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

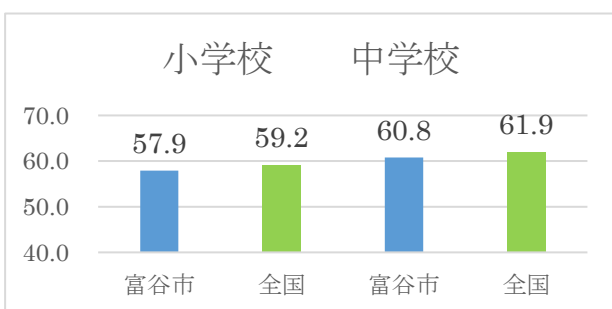


「将来の夢や目標を持っている」割合は、小学校で全国を上回っていますが、中学校は下回っています。「人の役に立つ人間になりたいと思っている」割合は、富谷市・全国の小・中学校とも95%以上で高くなっています。富谷市の小・中学校とも全国並みとなっています。

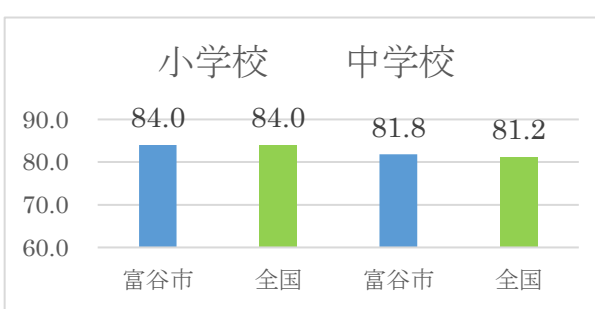
将来の夢や目標を持つためには、自己をしっかりと見つめさせ、夢や希望について考える場と時間を十分に与えるだけでなく、さらにそれについて教師と一緒に語り合える場を設定することも大切です。また、人の役に立つ人間を目指すためには、子どもたち一人ひとりに積極的に役割を与えるなど、自信を持ち、自分の価値に気づかせ、自己有用感を高める指導も必要です。

国語の授業について

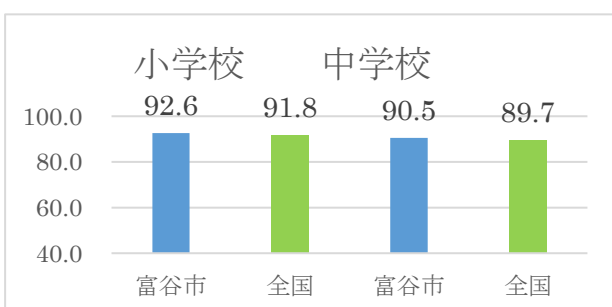
Q 4 9 国語の勉強は好きですか



Q 5 1 国語の授業の内容はよく分かりますか



Q 5 2 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

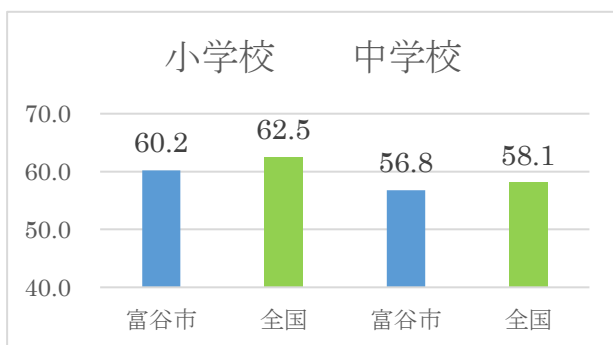


「国語の勉強が好きですか」については、小・中学校とも全国を下回りました。「国語の授業が分かる」、「国語で学習したことは将来役に立つ」と答えている割合は、小・中学校とも全国並みとなっています。

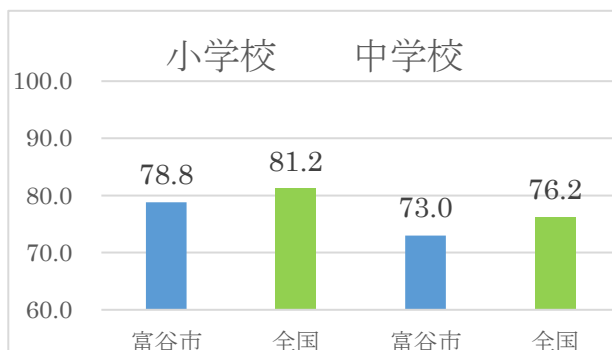
国語の面白さが伝わるような指導を心掛け、国語好きの児童生徒が増えることを期待します。

算数・数学の授業について

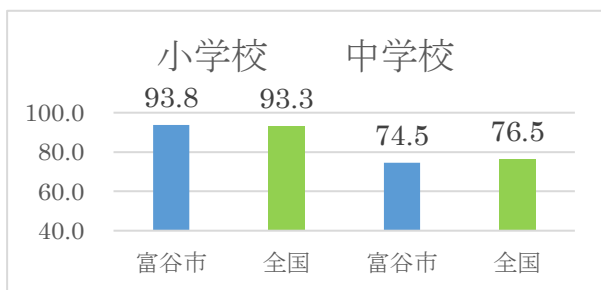
Q 5 3 算数（数学）の勉強は好きですか



Q 5 5 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか



Q 5 6 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

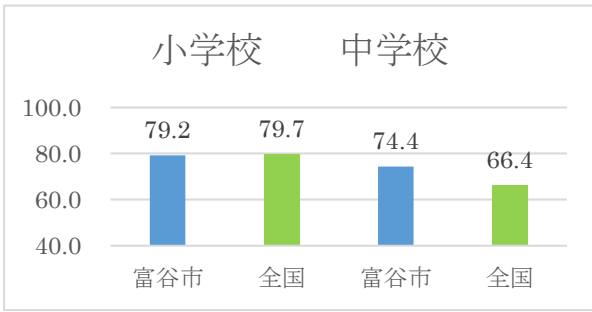


算数・数学については、小学校の「将来役に立つか」という項目は全国並みですが、それ以外は、小・中学校とも全国を下回りました。

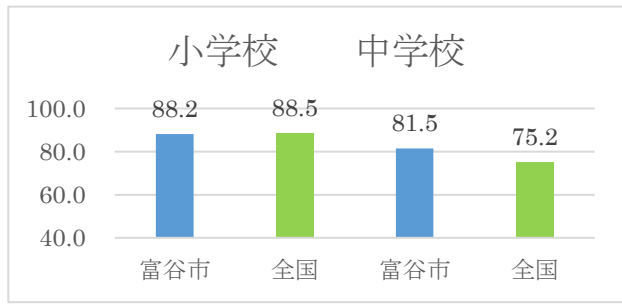
小・中学校とも、「授業が分かる」ことが実感できるように指導の工夫や改善を行い、算数・数学への苦手意識を減らすことが重要です。

理科の授業について

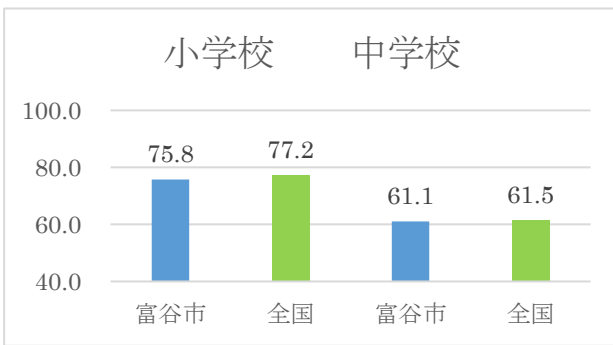
Q 6 1 理科の勉強は好きですか



Q 6 3 理科の授業の内容はよく分かりますか



Q 6 5 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

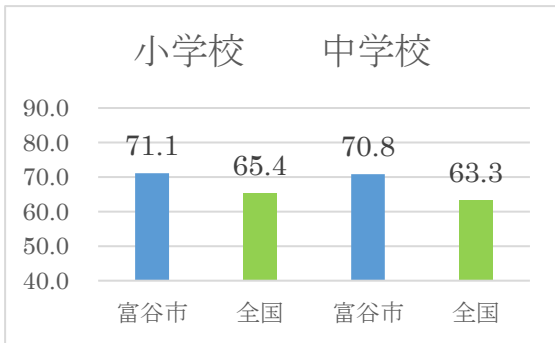


理科については、「理科の勉強が好きか」では、国語、算数・数学に比べて数値が高くなり、苦手意識は少ないようです。小学校で全国並み、中学校では全国を上回りました。「授業の内容が分かるか」では、小・中学校とも全国を上回りました。しかし、「将来役に立つか」では、小・中学校とも全国を下回りました。

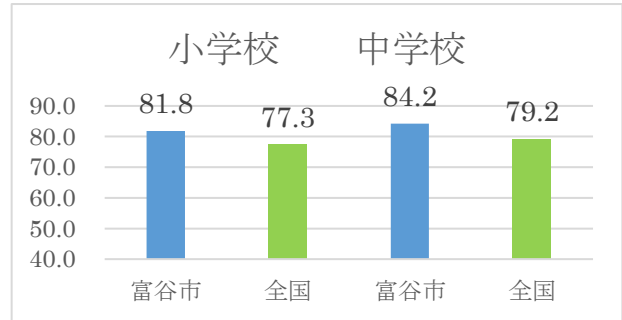
小・中学校とも、理科の有用性が伝わるように指導の工夫や改善を行う必要があると思います。

学び合い・主体的な学び

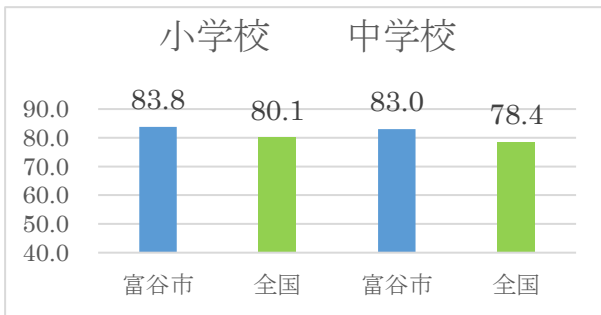
Q 3 2 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



Q 3 9 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



Q 4 3 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

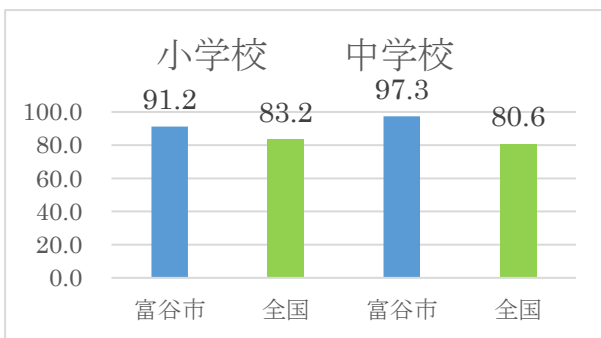


学び合い、主体的な学びに関する項目で、「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する」「自分で考え、自分から取り組んでいる」「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている割合は、小・中学校とも全国を上回っています。

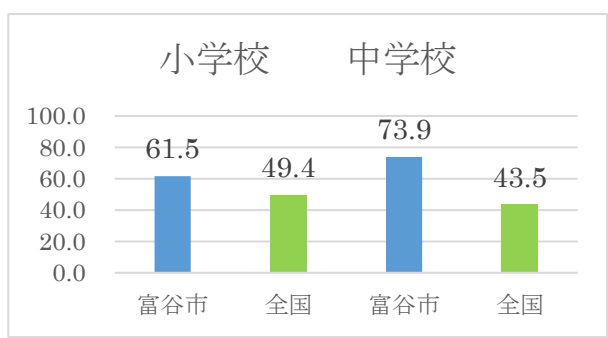
今後も新型コロナウイルス感染症予防の観点から三密を避けながらも、授業のねらいに応じて、学び合い活動を充実させ、主体的な学びが図れるように指導していくことが望まれます。

ICTの活用について

Q 3 2 授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか
〈週1回以上と回答した割合〉



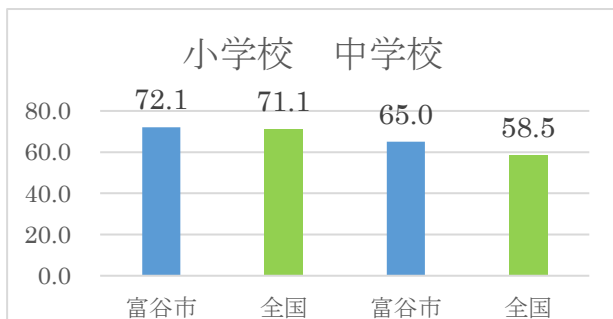
Q 3 4 コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使っていますか
〈週1回以上と回答した割合〉



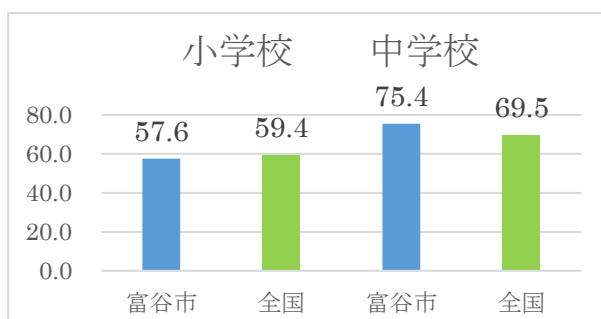
授業でICT機器を活用したり、他の友達と意見交換をしたり、調べたりするための使用頻度は、富谷市の小・中学校で全国を上回っており、特に中学校で顕著です。タブレット端末の配布等のハード面の整備とともに、市内各小・中学校の先生方の授業中の活用の成果が表れていると思います。

家庭学習

Q 2 0 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



Q 2 1 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか<1時間以上と回答した割合>

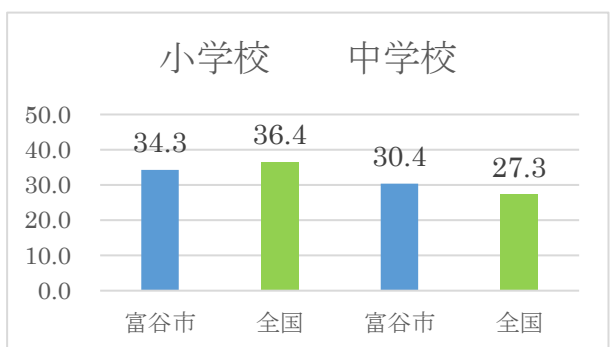


自分で計画を立てて勉強すると回答した割合は、小学校は全国並み、中学校は小学校に比べると低いものの、全国を大きく上回っています。平日の勉強時間は小学校で全国を下回りましたが、中学校では全国を上回っています。

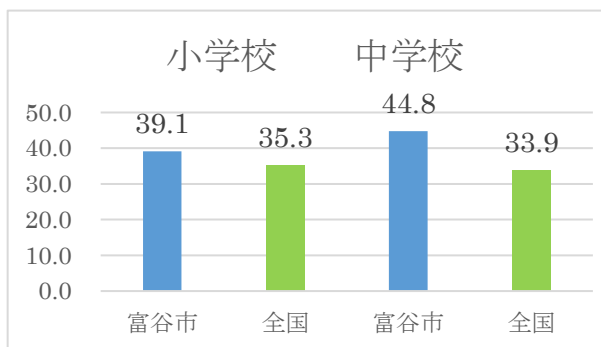
家庭学習では、計画を立てて学習する具体例を示し参考にさせたり、計画的な学習の効果を教えたりするなど、継続的な指導が大切です。

読書の時間

Q 2 3 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか<30分以上と回答した割合>



Q 2 4 あなたの家にはどのくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）<100冊以上と回答した割合>

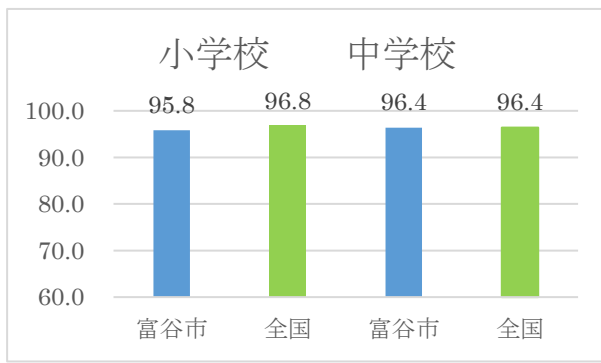


学校の授業時間以外に、1日当たり30分以上、読書している割合は、富谷市・全国とも40%未満で決して多くはありません。富谷市の小学校で全国を下回りましたが、中学校では全国平均を上回りました。学校図書館指導員の配置、朝読書の時間の設定などの取組が成果を上げていると思われます。

また、Q 2 4は、家庭の蔵書量を問うものです。富谷市は小・中学校とも全国を上回りました。学校のみならず、家庭の環境も読書活動を支えていると思われます。

いじめについて

Q11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

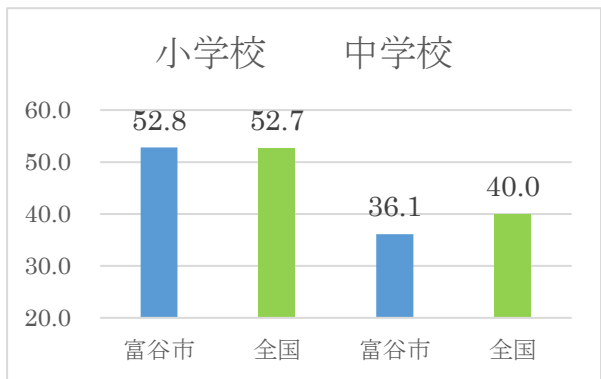


「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた割合は、富谷市・全国の小・中学校とも95%を超えています。富谷市の小・中学校は全国並みとなっています。

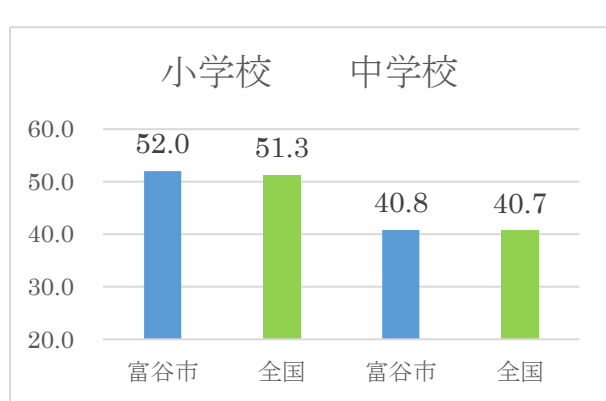
いじめの問題については、「あなたならどうするか」と自分のこととして考えさせ、話し合わせることを通して、「いじめられる側にも問題がある」という考えは誤りであることに気づかせる必要があります。

地域との関わり、社会に対する興味・関心

Q29 今住んでいる地域の行事に参加していますか



Q30 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合は、小学校は全国並みですが、中学校では全国を下回りました。一方、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた割合は、小・中学校とも全国並みでした。

地域のことについては、地域の行事に直接参加を促すだけでなく、新型コロナウイルスの感染により行事そのものが減少や縮小されていることから、朝の会や帰りの会で地域や社会のことを話題にすることや、ボランティアなどへの参加の働きかけを行うことも必要になってくると思われます。